

晩秋の風物詩 日本一の大イチョウ

13回目のライトアップ

11月13日から12月初旬にかけて北金ヶ沢の大イチョウのライトアップ「ビッグイエロー2024」が行われ、来場者は神秘的な美しさと圧倒的な大きさに魅了されています。

北金ヶ沢の大イチョウは、幹回り約22m、樹高約31m、樹齢1,000年を超えており、国の天然記念物に指定されています。垂乳根のイチョウとも呼ばれており、乳房のように垂れ下がる気根に触れると母乳の出が良くなる、とい伝えられ地域に親しまれています。

13日18時から点灯式が行われ、全員揃い

の黄色いニット帽とレインコート姿で、黄色い妖精になった修道小学校の児童17人が参加しました。点灯式が行われた13日時点では、1〜2割程度の色づきで、まだ緑色の葉が多かったですが、パッとライトが灯された大イチョウは幻想的で雄大な姿を見せてくれました。

大イチョウは12月1日頃、全体が黄色く色づき見ごろを迎えました。「ビッグイエロー」は今年、大手旅行会社の日本全国紅葉アクセスランキングで全国1位に選ばれ、期間中多くの方が晩秋の風物詩を楽しんでいました。

